

保護者の皆様

新開小学校長 菊本 佳孝

令和4年度 学校評価結果について

春和の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。日頃は、本校教育に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、以前にご協力いただきました学校評価の保護者アンケート結果について報告させていただきます。質問に対する肯定的な評価（よくあてはまる おおむねあてはまる）の割合を%で表しました。結果を踏まえ、今回いただいた貴重なご意見等を、今後の学校運営に生かし反映させていきたいと考えています。ご協力いただきありがとうございました。

令和4年度新開小学校 学校評価(保護者)アンケート結果

番号	項 目	肯定的
1	学校は、学習や生活の様子をホームページや学級だより等で適切に知らせている。	91%
2	学校は、子どものことについて相談・連絡しやすい。	91%
3	学校は、校舎内・校舎外など安全で学習しやすい環境づくりに取り組んでいる。	85%
4	学校は、交通安全指導・避難訓練・引き渡し訓練など安全・防災教育に取り組んでいる。	93%
5	学校は、地域の特性を生かした教育活動を行っている。	83%
6	お子さんは、宿題など家庭学習や次の日の準備にきちんと取り組んでいる。	88%
7	お子さんは、学習したことをよく理解している。	84%
8	お子さんは、進んで自分の考えを伝えたり、表現したりしている。 (ペア学習やグループ活動での話し合いを含む)	75%
9	お子さんは、読書に親しみ、読書をする習慣が身についている。	41%
10	本校の教職員は、わかる授業を工夫し、子どもの学力向上に取り組んでいる。	84%
11	お子さんは、授業や行事を通して楽しく学校生活を送っている。	92%
12	お子さんは、いじめもなく仲良く生活できている。	90%
13	お子さんは、進んであいさつをしている。	72%
14	本校の教職員は、子ども理解に努め、良さや可能性を伸ばそうとしている。	87%
15	お子さんは、外遊びや適度な運動をして、体力向上に努めている。	78%
16	お子さんは、早寝・早起きができている。	73%
17	お子さんは、朝ご飯を食べて登校している。	90%
18	授業参観や学校行事、PTA活動にはできるだけ参加している。	80%
19	家庭では、子どもと対話し、心が豊かになるように心がけている。	79%

(裏面に続く)

次の6つの項目について課題が残りました。

児童へのアンケートと照らし合わせながら考察し、次年度の課題と方策をまとめています。

【保護者アンケート】お子さんは、進んで自分の考えを伝えたり、表現したりしている。(ペア学習やグループ活動での話し合いを含む) 75%

【児童アンケート】授業中、自分の意見や考えを伝えたり、友達の意見や考えをきちんと聞いたりしている。 90%

→学習活動の中に、意図的に自分の考えを伝えたり、表現したりする活動を設定しているが、全体の場での自発的な発表や、文章での表現の上達は十分とは言えず、今後も児童の実態に応じた長期的で継続的な取組をしていく。例えば、話形モデルを示して自分の考えを伝えやすくしたり、自主勉強ノートの手本を示したりして学習の方法や表現方法を自ら考えて取り組めるようにしたい。

【保護者アンケート】お子さんは、進んであいさつをしている。 72%

【児童アンケート】家の人や先生、友達や地域の人にすすんであいさつができています。 84%

→学校全体で「進んであいさつ」できるように取り組んでいる。あいさつすると返すようになり、子どもたちの意識は変わりつつあるが、自発的にすることへの抵抗はまだ大きいようである。学校だけでなく家庭、地域と連携してあいさつへの意識をさらに高めていけるようにしたい。例えば、いじめ子ども防止委員会によるあいさつ運動や集会活動による活性化を図ったり、異学年交流などを通して高学年の自覚を高め、高学年を中心としてあいさつの輪を広げたりすることができるようにする。

【保護者アンケート】

・お子さんは、外遊びや適度な運動をして、体力向上に努めている。 78%

・お子さんは、早寝・早起きができています。 73%

【児童アンケート】「早寝・早起き・朝ご飯」や適度な運動(外遊びなど)ができています。 86%

→外遊びを好まない児童が一定数いるが、適度な運動の必要性について指導するとともに、ゲームや動画視聴で遅くまで起きている児童への生活指導にも積極的に取り組みたい。例えば、異学年交流を兼ねた縦割りグループでの外遊びの日を設けたり、生活習慣アンケートの実施回数を増やしたりする。

【保護者アンケート】お子さんは、読書に親しみ、読書をする習慣が身につけている。 41%

【児童アンケート】よく読書をしている。 57%

→子どもたちにも読書をあまりしていないという自覚がある。朝の活動の時間や活動の合間に積極的に読書の時間を設けているが、自ら進んで本を読む、家庭で読書する児童は少ないのが実態である。例えば、しんばりおはなし会による読み聞かせに加え、図書室の蔵書の充実や図書委員会による図書の紹介、読み聞かせ、子ども新聞やブックカードの活用など児童の関心を高める活動を行う。また、ゲームから読書へ関心を向けられるような働きかけ(タブレット使用時間の短縮など)を各家庭の協力を得ながら積極的に行っていききたい。

【保護者アンケート】家庭では、子どもと対話し、心が豊かになるように心がけている。 79%

【児童アンケート】先生にわからないことや困っていることを伝えたり、相談したりしている。 75%

→学校での教職員との対話が十分ではない実態があるため、教職員が子どもたちとの信頼関係づくり、伝えやすい雰囲気作りに努めるとともに、対話につながる各家庭への情報提供や情報共有も心がけるようにする。担任だけでなく、いろいろな教職員に相談できるような相談体制の工夫をしたい。

本年度も、行事の延期や縮小など十分に学校教育活動が行えない中、保護者の皆様には深いご理解とご協力を賜りましたこと、改めて深く感謝申し上げます。この結果を次年度の学校教育活動の目標や課題に反映させながら、それに対する方策を工夫していきたいと思います。今後も、保護者や地域の皆様にご協力・ご支援いただき、子どもたちのために教育活動を充実させていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。